

工学部 8月9日(水)

城北キャンパス(松山市文京町3番)

事前申込プログラム

対象:高校1・2・3年生と既卒者

○事前申込が必要なプログラムです。

○第1部と第2部、両方に申し込むことができます。
(その場合は、同じコースへの申込はご遠慮ください。)

○プログラムの開始・終了時間は各コースで異なります。
詳細は[タイムテーブル](#)をご確認ください。

○定員に達したプログラムは、申込締切前でも受付を終了します。
ただし、申込締切前にキャンセルが出た場合、申込ができるようになりますので、
随時、申込ページで確認してください。

11:00 ○ 第1部、第2部 受付開始 **場所**「社会共創学部本館/総合研究棟 2」ロビー

11:20 ○ 第1部開始

機械工学コース、知能システム学コース【定員】60名(2コース合計)

電気電子工学コース【定員】34名

コンピュータ科学コース、応用情報工学コース【定員】35名(2コース合計)

材料デザイン工学コース【定員】30名

化学・生命科学コース

①水を吸収する不思議な高分子【定員】9名

②光により色が変わる化合物【定員】20名

③ゲノム DNA を抽出してみよう【定員】4名

社会基盤工学コース、社会デザインコース【定員】34名(2コース合計)

13:30 ○ 第1部終了

第2部開始

機械工学コース、知能システム学コース【定員】30名(2コース合計)

電気電子工学コース【定員】34名

コンピュータ科学コース、応用情報工学コース【定員】35名(2コース合計)

材料デザイン工学コース【定員】30名

化学・生命科学コース

①水を吸収する不思議な高分子【定員】9名 (②、③は第1部のみ実施)

④藍染にチャレンジ【定員】12名

⑤エレクトロクロミック表示素子を作ってみよう【定員】6名

⑥タンパク質を分けてみよう【定員】4名

社会基盤工学コース、社会デザインコース【定員】34名(2コース合計)

15:40 ○ 第2部終了

機械・システム分野

機械工学コース・知能システム学コースは、「ものづくり」を支える工学として発展し、科学技術及び産業の基礎となっています。オープンキャンパスでは、日頃見ることのできない先端研究を体験してください。

【機械工学コース】 <http://www.me.ehime-u.ac.jp/>

エネルギーの高度利用、不思議な流れやプラズマなどを用いた新材料の開発や新しい加工法。

【知能システム学コース】 <http://www.me.ehime-u.ac.jp/>

人に優しい機械やロボット開発など。

電気・情報分野

【電気電子工学コース】 <http://www.ee.ehime-u.ac.jp/>

IoT(モノのインターネット)や 5G(第 5 世代)移動通信システムなどを支えるエレクトロニクス技術の全てが電気電子工学コースにはあります。オープンキャンパスでは、「プラズマ遺伝子導入を利用した再生・ゲノム医療実用」、「高電圧技術を利用した環境負荷物質の無害化」、「高度情報化社会を支えるための信号処理技術」などのデモ実験を体験することができます。

【コンピュータ科学コース】 <http://www.cs.ehime-u.ac.jp/>

コンピュータ科学コースでは、AI、データ科学、IoT、組み込みシステムの技術を融合的に活用して実社会の課題を解決するコンピュータシステムを開発できる人材を育成します。オープンキャンパスでは、情報工学の基礎となるプログラミングを体験します。なお、プログラミング体験は、応用情報工学コースと合同で行います。

【応用情報工学コース】 <http://www.cs.ehime-u.ac.jp/>

応用情報工学コースでは、情報工学・通信工学に関する知識・技術に基づき、課題の発見・探求・解決を実践できる人材を育成します。オープンキャンパスでは、情報工学の基礎となるプログラミングを体験します。なお、プログラミング体験は、コンピュータ科学コースと合同で行います。

材料・化学分野

【材料デザイン工学コース】 <http://www.mat.ehime-u.ac.jp/>

スマートフォン、自動車、航空機、船舶、光通信、太陽電池などのあらゆるものが新しく開発された”材料”から構成されています。オープンキャンパスでは、そんな材料の作り方や特徴を実際に体験してみてください。詳細は上記 Website をご覧ください。

【化学・生命科学コース】 <http://www.ach.ehime-u.ac.jp/>

研究室での簡単な体験実験を通して、大学院生や教員と交流し、大学生活や研究の一環に触れてもらいます。

土木・環境分野

【社会基盤工学コース】 <http://www.cee.ehime-u.ac.jp/>

水道、電気、ガスなどのライフラインや、道路、鉄道、港湾等の人やモノの移動に必要な施設は、社会基盤と呼ばれます。本コースでは災害に強く、自然と調和した社会基盤の整備と維持管理に関する教育・研究を行っています。オープンキャンパスでは、研究室ツアーで、建設・防災・環境工学など、社会基盤の強靱化に必要な技術研究を紹介します。

【社会デザインコース】 <http://www.cee.ehime-u.ac.jp/>

社会基盤の整備だけでなく、豊かな自然を感じ、快適な生活のためのまちづくりの推進が必要です。本コースでは、理系的な知識や技術と、社会学や経済学などの文系的な考えを融合し、持続可能なまちづくりの創造に関する教育・研究を行っています。オープンキャンパスでは、研究室ツアーで最先端の研究を紹介します。